

Musée Bernard Buffet



Buffet-Kun e-book vol.4

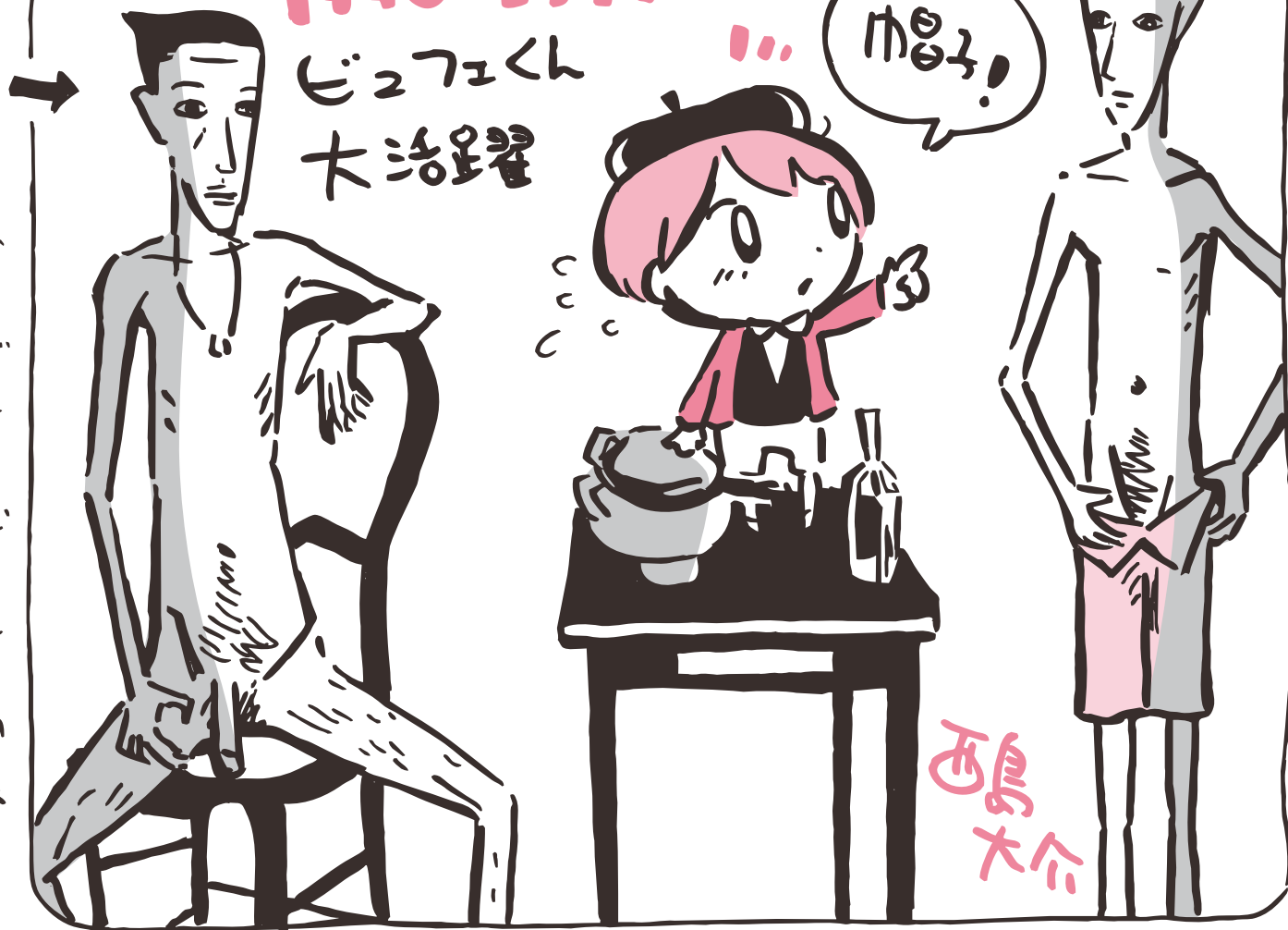
新春405回!! 116人と(画)モデルに思われる「裸の男」と「暖炉」は、ジュフェ美術館蔵。

ベルナール・ジュフェをもっと好きになる月刊紙!!

月刊ジュフェくん 第4号

1948-1949

ジュフェくん
大活躍



1947年に19歳で初個展を開催した
ジュフェくん。

小さな展示でしたが
エコール・デ・ボザールの総監
レイモン・フニャが近代美術館のために
作品「肥んだ鶏」を購入する
まで...

おお

こわっ
まさか

作品「肥んだ鶏」(1947年)の複製。この複製は、ジュフェ美術館蔵。

具象とは抽象と対比される概念。具体的な対象を具体的に描くこと。

この賞と同時に
受賞したのは、
20歳年上の具象画家
ベルナール・デュ
ジュでいた。

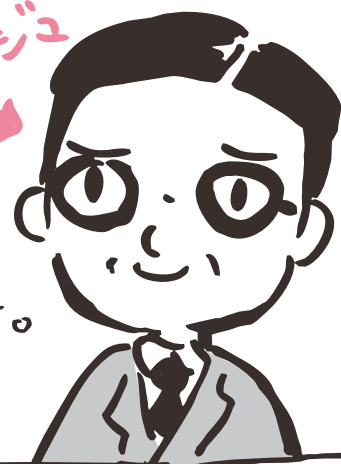
老・若、二人の
ベルナールの
ダブル受賞は
大きなニュースに

Lorjon になりました。

ベルナール・
デュジュ

1908年
生まれの
40歳。
具象画家。

フフフ...



(きざ)
ベルナールの光し!?



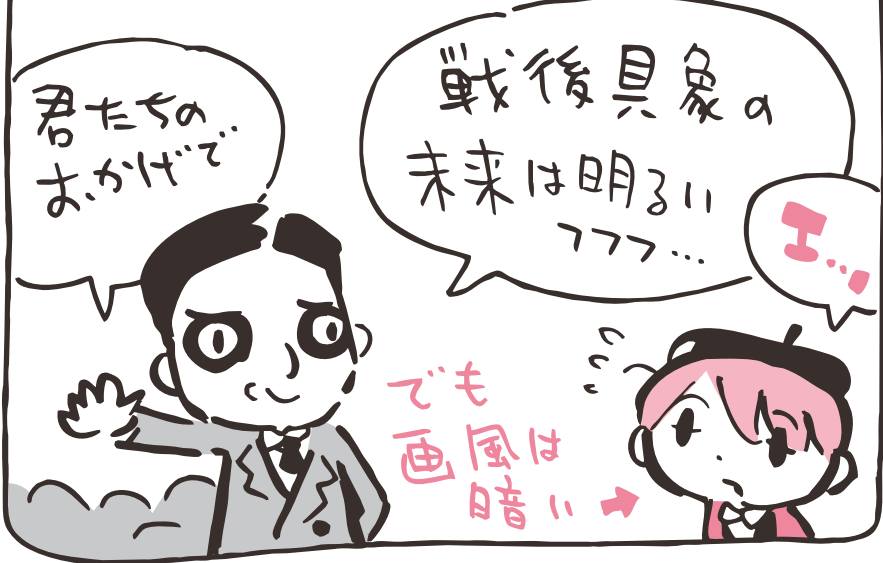
運命の1948年6月。
ベルナール・デュジュ
20歳の年。
その前年に制作した
「部屋の中の二人の男」で
サン＝フランシスコ画廊の
(フォル・ド・ラ・クリティック)
批評家賞を受賞。



デュジュの絵の前に二人が並ぶ有名な写真があります。

おてもちゃん...じいちゃん。オムテモワン!

ニニで意見相合したロルジュは、
ビュフェら **L'Homme-
Temoin**
若手画家たちと
新しい具象画家集団
(オムテモワン)
「証言者」を結成。



君たちの
よかげで

戦後具象の
未来は明るい
ワッ...

でも
画風は
暗い →

いり、そして
世界のアートの
ブームは
「抽象画」へと
流れていき
ますが、
ビュフェは
「具象の大真手」
として
かつぎあげられ
ます。



わずか20歳で
画風も、
芸術家としての
立ち位置も



早熟

明日香に
なってしまった
ビュフェくん

ニ干 ニ干

ニ干

成エカの喜びの反面、
「とまどい」もまた大きかった
はず....

1949年、学友アニエス・ナンケットと結婚 → 翌年離婚。

例えば同じ「証言者」を結成したジャクソン・ポロックなど。

その生涯を通じて
ビュフェの言葉は少なく

「私は絵を描く
ことしか知らない」

「絵の中に自分自身が
埋没してもよい」

というものに
とても

批評的というより

素朴です。



沈黙は…金!!

AA井よりもAA作。
オールド・スクール。
後のビュフェのスタイルは
このブレイク期に既に
決定されていたの…かも。

まあ
いいさ!

今日も
アトリエへ

で、
非情な解剖
って何さ?

デビュー当時のビュフェを語る

批評家 ピエール・ド・ボリデフの言葉はこちら。

「彼の鋭い線、灰色のモトーン、非情な解剖は、
現代の“不条理”というものを、ガウリの『嘔吐』や
カミユの『異邦人』とおなじくらい激しく表現
している」

まさに時代の寵児としての評価ですね!

日本のアート

ドラゴワ
ルーヴル美術館



ピラミッドが
建つのは
1989年

巨匠が
学ぶよ!

PARIS

国立美術学校で
学ぶ (1944)

ニニエは
害ハスル
僕生まれて
ないし...

ニニエは
害ハスル
僕生まれて
ないし...

第一次世界大戦
(1914-1918)

戦争の反響で

ダダ (反芸術)
生まれる

アメリカへ...



ロシア構成
主義

カンディンスキー
ドイツ
フランス



芸術の都パリ
生まれ (1928)
アートに魅了



コトリロ



エコール・ド・パリの
芸術家たち



作品
「パリの風景」(1947)

かつての
パリ派...



小巻...

ボヘミアンは
4リ...

でも
セカリは
真になる

作品
「父と息子」
(1945)



ツルセル
デジカン



バナーハス
(1919-1939)



ドイツ

アンブレ
ブルトン

「シュルレアリスム宣言」
(1924)

Dream

ジョアン
ミロ

スペイン



モネリ
アン

オランダ



アメリカへ...

抽象の創始者たち

王道・正
良い意。

ビュフェくんとゆる 具象絵画と



抽象絵画

フランスの抽象

具象の大旗手!!
(1948) Oにエ

僕でいいの?

具象

ま、いいか



ちゅーは〜



ジャン・デュビュフィ
ア・ラ・フォルム



ジャクソン・ポロック

アクション・ペインティング
(1947)



作品
「部屋の中の二人の男」
(1947)



後はNYを描くよ!

Très Bien.

抽象
アメリカ
ポップアート

作品
「ニューヨーク・マンハッタン」
(1958)



ビュフェは
良いよ!
そう思わない?



(1985)

「オーホール」
晩年に作る

もちろん具象

←溶ける魚?

Musée Bernard Buffet

系統を学んで19歳で画家になってしまったビュフェくんは、
未だ芸術家を二じうせず、おぼろけ的と言えるかもしれません。

素直!!

